

資料代 500円
申込み不要

第13回アジア考古学合同講演会

アジアの窯業

2024

早稲田大学
戸山キャンパス

1/21(日) 36号館 581教室

13:00-16:50

基調講演

「窯の機能論－竈窯と連房式登り窯を中心に」 木立雅朗（立命館大学教授）

講演

「中国の窯業－中国陶磁にみる外国の影響」 徳留大輔（出光美術館学芸員）

「東南アジアの窯業」 田畑幸嗣（早稲田大学教授）

「土器づくりの中心と周縁－文化人類学的アプローチ」 齋藤正恵（白鴎大学准教授）

主催：日本中国考古学会、日本西アジア考古学会、東南アジア考古学会



写真：高橋洋行
本文：11世紀、大塚町土器窯跡発掘調査報告書
編者：八尋弘也

第13回アジア考古学合同講演会

アジアの窯業

日常生活をする上で欠かすことのできない土器は、アジアの各地で発明され独自の発展を遂げました。特に窯を使用して器を堅く焼き締めることができるようになってからは、長持ちがする多種多様の器が大量に生産され流通しました。このような窯業生産の姿に多角的な視点から迫ります。

会場：早稲田大学戸山キャンパス 36号館 581教室

プログラム

12:30 開場

13:00-13:10 開催挨拶 三宅 裕 (日本西アジア考古学会 会長)

13:10-14:10 基調講演 「窯の機能論－窰窯と連房式登り窯を中心に」 木立雅朗 (立命館大学 教授)

14:10-14:25 休憩

14:25-15:05 講演1 「中国の窯業－中国陶磁にみる外国の影響」 徳留大輔 (出光美術館 学芸員・日本中国考古学会)

15:05-15:45 講演2 「東南アジアの窯業」

田畑幸嗣 (早稲田大学 教授・東南アジア考古学会)

15:45-16:00 休憩

16:00-16:40 講演3 「土器づくりの中心と周縁－文化人類学的アプローチ」 齋藤正憲 (白鷗大学 准教授・日本西アジア考古学会)

16:40-16:50 閉会挨拶 小澤正人 (日本中国考古学会 会長)



高松市、大塚山、15世紀



2009年、フィリピン、マニラ近郊

会場へのアクセス：

早稲田大学戸山キャンパス

(東京都新宿区戸山1-24-1)

- ・JR 山手線 高田馬場駅から
徒歩 20分
- ・西武新宿線 高田馬場駅から
徒歩 20分
- ・東京メトロ東西線 早稲田駅から
徒歩 3分
- ・東京メトロ副都心線 西早稲田駅から
徒歩 12分

問い合わせ先：日本西アジア考古学会

mail: office@jswaa.org

